

# 北海道ブロック研究会NEWS

有益な情報交換の機会、平成23年度ブロック研究会が終了しました

## 研究発表報告

今回のキーワードは、学び定着のための「振り返り」の重要性

去る10月22日(土)14:30から札幌国際大学経済センターキャンパスを会場に、平成23年度ブロック研究会を開催いたしました。小雨まじりの秋の一日でしたが、研究会には12名、懇親会には15名の会員が参加し(なぜか懇親会で人数が増えます)、終始和やかな雰囲気の中で今年度の研究会を無事終えました。お忙しい中、ご参加いただいた会員の皆様に心から御礼申し上げます。

総会の後、4件の研究発表があり、最後に「プレゼンテーション教育の成果とこれから」と題して座談会を行いました。本誌では紙幅の制約から発表者氏名とタイトルのご報告に留めさせていただきます。発表内容の詳細は年度末に発行する「ブロック研究会報告書」をご覧ください。



発表①「魅力あるビジネス教育を目指して」旭川明成高校 木村康先生



発表②「医療管理学における教育実践ーコラージュとユニバーサルデザインを活用してー」札幌医薬専門学校 南聡子先生



発表③「サービスラーニングの振り返りから見る、学生の受け止め方の変遷」北海商科大学 加藤由紀子先生

発表④「汎用能力を育成するためのTBL授業の試み」札幌国際大学短期大学部 椿明美先生、北海道武蔵女子短期大学 和田佳子

## プレゼンテーション教育を振り返るための座談会を実施

学会本部主催のプレゼンター・オブ・ザ・イヤー賞および全国学生プレゼンテーション大会が今年度をもって一旦終了したことを受けて、これまでの教育成果の振り返りと今後の課題についての意見交換を行いました。



提言と進行: 札幌国際大学 武井昭也先生

今回の研究会で奇しくも共通のキーワードとなったのは「リフレクション」でした。振り返りがあってこそその発展であることを再認識いたしました。(W)



## 懇親会

研究会終了後、一軒家ダイニング「えりも亭」に会場を移して、懇親会を行いました。いつもながら和気藹々。写真の笑顔から、その雰囲気がおわかり頂けることでしょう。

忘年会がないのは残念ですが、また明年を楽しみに♪

